

NOSAI

おかやま

2022
秋号
No.14

P2~
損害防止特集

水稻栽培の基本は災害への備えです!

P8

組織体制の見直しを検討しています



NOSAI おかやま 秋号

2022 No.14

岡山県農業共済組合
〒703-8265 岡山市中区倉田436-2
TEL 086-277-5531(代)
FAX 086-276-1411(代)
<http://www.ok-nosai.or.jp>

クイズに挑戦

Q

ジャンボタニシの防除対策として、冬場はほ場の耕うん作業、移植後は薬剤散布と「〇〇〇」を徹底しましょう。

答え:〇〇〇

No.12(春号)の解答

「一筆」方式

正解者の中から抽選で5名様に

「アイリスオーヤマ
たこ焼き
2WAYプレート」
をプレゼント

●本体:約230×345×75mm ●AC100V-800W

※解答の発表は、「NOSAI おかやま No.16(春号)」の紙面に記載します。
また、当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



のうきょう川柳 & クイズ

<< 応募方法・宛先 >>

ハガキまたはメールで郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・本紙全体のご意見・ご感想をご記入のうえ、右記宛先までご応募ください。

●応募締切／令和4年12月16日(金) (当日消印有効)

●宛先／〒703-8265 岡山市中区倉田436-2

岡山県農業共済組合

「のうきょう川柳」係 または「クイズに挑戦」係

E-mail kikaku@ok-nosai.or.jp

メールはこちら



<個人情報の取り扱いについて>

皆さまからいただいた個人情報については、適切に管理するとともに、賞品の発送及び広報紙作成の参考とする以外の目的には使用いたしません。

お問い合わせ先(本所または管轄の支所へご連絡ください)

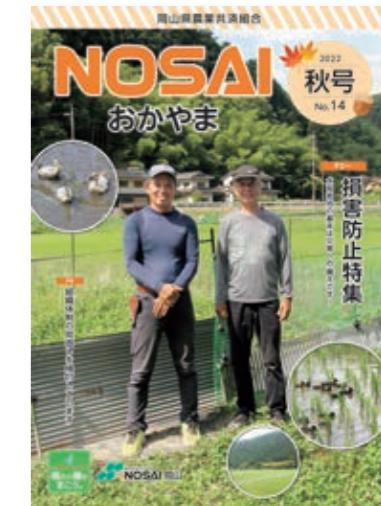
	本支所	電話番号	FAX番号	郵便番号	住 所		
本 所	総務課(代表番号)	086-(277)5531	086-(276)1411	〒703-8265	岡山市中区倉田436番地2		
	企画情報課	086-(277)5532					
	監査室	086-(277)5534	086-(276)1590				
	収穫共済課	086-(277)5553					
	資産共済課	086-(277)5554					
	収入保険課	086-(277)5548					
支 所	家畜課	086-(277)5539	086-(276)1412				
	岡山支所	086-(277)5511	086-(276)5556				
	東備支所	0869-(92)0404	0869-(92)0506		和気郡和気町和気438番地10		
	倉敷支所	0866-(92)1771	0866-(92)1801		総社市門田85		
	井笠支所	0866-(83)2600	0866-(83)2650		小田郡矢掛町矢掛2979番地1		
	高梁支所	0866-(21)0350	0866-(22)3456		高梁市落合町近似267番地29		
	新見支所	0867-(72)4455	0867-(72)4465		新見市西方423番地6		
	真庭支所	0867-(44)5520	0867-(44)5528		真庭市江川1794番地1		
	津山支所	0868-(36)7730	0868-(36)6170		津山市新野東567番地		
	勝英支所	0868-(38)1240	0868-(38)1244		勝田郡勝央町勝間田201番地		

表紙紹介

株式会社城北農産あいがもファーム

「子供たちに農薬を使わないお米を」との思いから、前身団体である旧勝山町の若手農業者が集まった「後継者クラブ」が有機JAS及び、岡山県独自認証制度の「おかやま有機無農薬農産物」の認証を受け、有機無農薬の水稻栽培を開始しました。

その後、後継者クラブの農業者が中心となって「勝山町無農薬米生産組合」を発足。平成26年に法人化し、現在もアイガモ農法をベースとした農薬、化学肥料を一切使用しない「勝山あいがも米」を販売するとともに、地域の受託作業を広範囲に請け負うなど、精力的な活動を続けています。



緊急

令和5年産に向けての防除対策を行いましょう

主に県南部に広く分布し、稚苗の食害により大きな被害をもたらすジャンボタニシの対策をまとめました



冬場の対策 > ほ場の耕うん作業

ジャンボタニシは暖かい南米出身！
寒い冬場はタニシ対策の絶好のチャンスです！

寒さを嫌うジャンボタニシは地中に潜って越冬します。そのため、ほ場を数回耕起して寒さにさらしたり、殻を破壊することで駆除することができます。また、ロータリーの回転速度を速くして、浅く細かく耕すことで高い効果が見込まれます。

移植後の対策 > 薬剤散布と水管理

ジャンボタニシの発生初期に
薬剤散布で被害の拡大を防ぎます

スクミノンもしくはジャンボにしくん（いずれも2回以内、収穫60日前まで）、スクミンベイト（発生時の使用回数に制限はありません）を散布します。

※各薬剤の説明をよくご覧ください。

薬剤散布

水管理

水稻共済加入者必見！期限迫る!!

水稻共済損害防止事業の申請期限は10月末です

①イノシシ等侵入防止施設設置資材助成

令和4年産水稻共済の責任期間中に新規に設置した電気柵・金網・トタン等の購入費用に対して、資材費の10%または加入面積10アールあたり1,000円のいずれか低い金額を助成します。

②病虫害防除薬剤購入助成

令和4年産水稻防除を目的に新規に購入した病虫害防除用薬剤の購入費用に対して、防除実施面積10アールあたり150円を助成します。

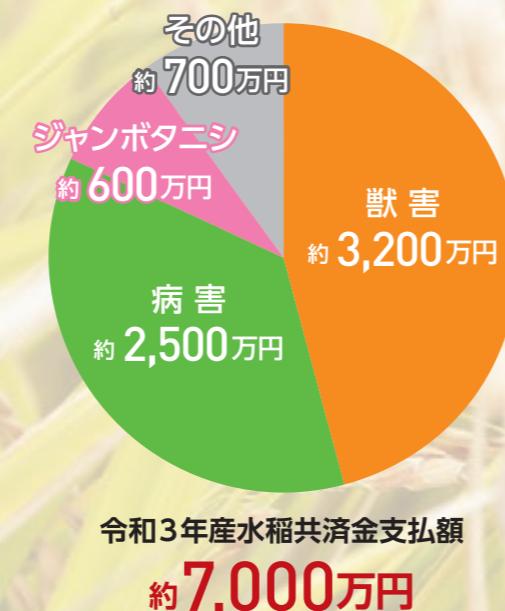
①または②のいずれかを選んで申請していただけます。

①、②ともに交付上限金額は3万円です。（集団実施の場合は10万円）
申請用紙が必要な方は最寄りのNOSAI各支所までお問い合わせください。

水稻栽培

の基本は災害への備えです！

令和3年産水稻共済金支払要因



年によって変動はありますが、それでも毎年上位の支払要因となる被害は「獣害」と「ジャンボタニシ」の二つが挙げられます。それぞれ過去3年間の平均で獣害が3,500万円、ジャンボタニシが800万円と、毎年多額の共済金をお支払いしています。

そこで、今回はこの二つの被害を防ぐための取り組みについて皆様に紹介をさせていただきます。

そこで、今年はこの二つの被害を防ぐための取り組みについて皆様に紹介をさせていただきます。

ところで、多くの方にご加入いただいている水稻共済ですが、主な支払要因をご存じでしょうか。

「地域の皆さんに手伝つてもらいながら何とかやっています」—— そう語るのは、残念ながら被害にあられた方、それぞれいらっしゃるかと思います。

令和4年産水稻の収穫が県下で徐々に始まっています。

今年の水稻の出来はいかがでしたでしょうか。例年どおり上手に作れた方、

残念ながら被害にあられた方、それぞれ

いらっしゃるかと思います。

インタビュー



▲電気柵を張り巡らした水田
地域まとめて17ヘクタールの水田を防護

同社では地域住人にアルバイトとして草刈りや、ワイヤーメッシュの設置などを協力してもらっています。このことで、「自分たちだけでは全部はできないからね。これからも地域で一丸となつて取り組んでいきます」と福島さんは笑顔で語ってくれました。

同社は中山間地域等直接支払制度等を積極的に活用。制度の対象となる17ヘクタールの農地の獣害防止に努めています。法人としては約7ヘクタールを栽培する一方で、地域の子供たちに農薬を使っていない米を食べてもらいたいという思いで早くからアイガモ農法を導入するなど、まさに地域農業の要として精力的に活動しています。

同社でも例年、イノシシ等による稻の被害に苦慮しており、「NOSAIの水稻共済損害防止事業や他の補助制度を活用しながら、毎年電気柵やワイヤーメッシュなどをほ場の条件に合わせながら設置しています」と話す。



▲代表取締役 福島 康夫さん（写真右）と取締役 谷口 誠一さん（写真左）

地域を束ね、獣害から稻を守る

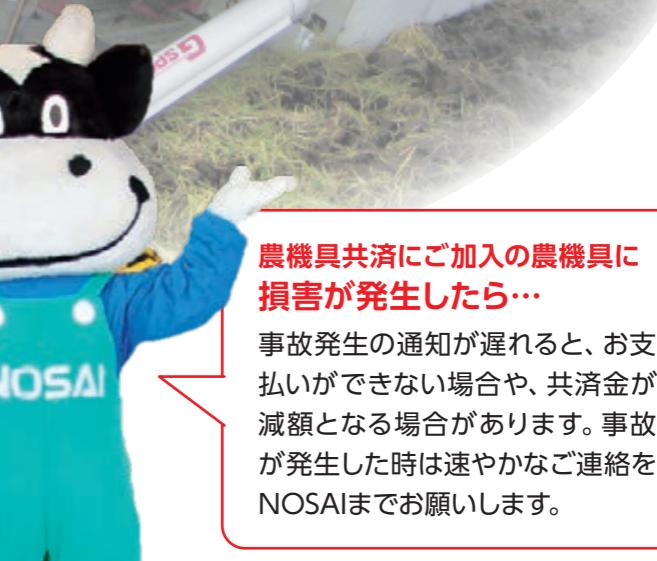
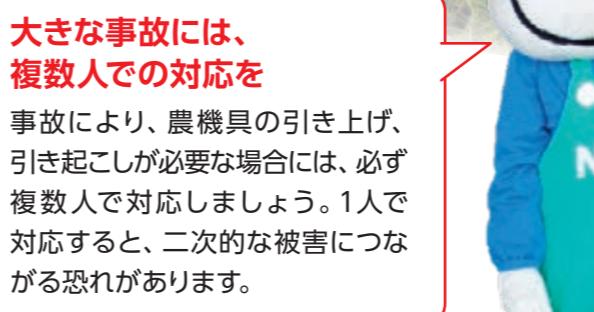
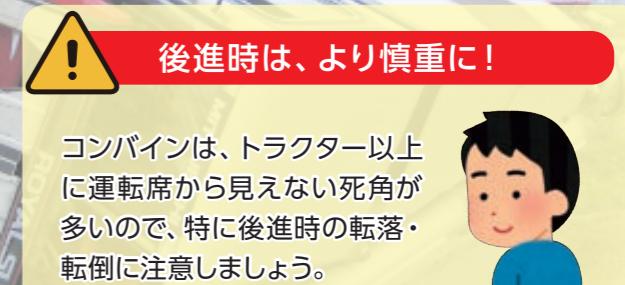
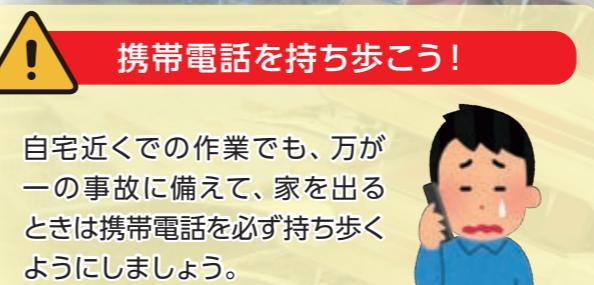
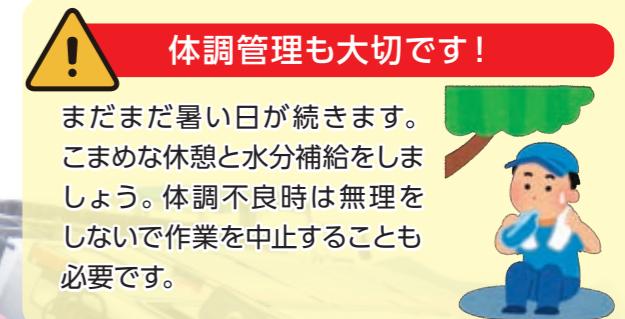
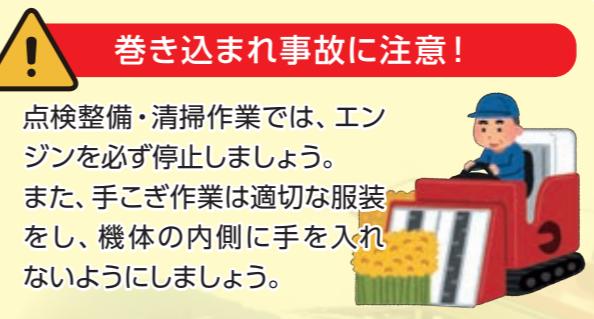
農作業中の事故に 気を付けましょう

収穫の秋を迎え、農作業が忙しい時期となりました。秋は、コンバイン等の収穫用の農機具を使用する機会が増え、その分農作業中に発生する事故も多くなっています。近年、農作業中の事故によりケガをする事例が増えていますので、農作業時には安全第一を心がけましょう。

令和元年度～令和3年度支払実績 ※岡山県内の支払実績

コンバイン	> 303件
トラクター	> 193件
田植機	> 50件
その他	> 117件

農作業時の注意ポイント！



新規獣医師等基礎臨床診療技術研修を開催しました

NOSAIでは、職員を対象にした様々な研修を行っています。今回は、新採用された獣医師を対象とした「新規獣医師等基礎臨床診療技術研修」の様子をお伝えします。

本研修は、産業動物の診療、治療に必要な基礎臨床診療技術などを5日間かけて学ぶ研修会です。各日の講師は先輩獣医師が務め、座学で講義を受けるだけではなく、牛の皮ふに見立てたゴムチューブでの縫合練習や、牛の蹄を用いた蹄病処置などの実習も行いました。

この研修を終え、新人獣医師たちは各自の配属先で様々な臨床現場を経験し、獣医師として成長をしていきます。



研修に参加した新人獣医師たち



伊藤獣医師
(北部基幹家畜診療所)

多種多様なことをインプットし、それを多角的にアウトプットできるようになりたいと考えています。至らない点も多々あるかと思いますが、どうかよろしくお願いします。



堀間獣医師
(北部基幹家畜診療所)

牛や農家さんと誠実に向き合うことを大切に、真面目にコツコツ頑張ります。



新里獣医師
(北部基幹家畜診療所)

診療、繁殖の技術を1日でも早く身に着け、また疾病に関する知識に関しても日々勉強し、少しでも牛と農家の皆様に貢献できるよう日々努力していきたいと思います。



麻喜獣医師
(蒜山家畜診療所)

多種多様なことをインプットし、それを多角的にアウトプットできるようになりたいと考えています。至らない点も多々あるかと思いますが、どうかよろしくお願いします。

今は毎日の診療についていくことで精一杯ですが、早く共済の力になれるように努力します。今年の目標は「いつも機嫌よく」です。



